

あすはまだより 5月14日



みなさん。こんにちは。毎日あたたかくて、よく晴れた日が続いていますね。  
夏も近くなり、生き物が活ぱつにうごく時期になりました。そこで、今日は、カ  
エルに引きつづき、ザリガニの話をしたと思います。

げんざい、日本でみられるおもなザリガニは、アメリカザリガニと日本ザリガ  
ニです。

どこが、どのようにちがうのか、みてみたいと思います。



アメリカザリガニ



日本ザリガニ

〈アメリカザリガニのとくちょう〉

- ・色：体の色はぜんたいいろてきに赤色
- ・大きさ：8 cm～15 cmほど（中には20 cmち  
かいものもいる）
- ・あたま：するどいさんかっけい三角形でトゲがある
- ・ハサミ：トゲがある

〈日本ザリガニのとくちょう〉

- ・色：るり色
- ・大きさ：4 cm～6 cmほど（10 cmをこえるも  
のもいる）
- ・あたま：せいさんせいさんかっけいかっけい三角形でトゲがない
- ・ハサミ：トゲがない

上のひょうを見てわかるように、アメリカザリガニのほうが、からだが大きく、日本ザリガニは、アメリカザリガニよりも小さめです。またアメリカザリガニは、ハサミにとげがあるのにたいして、日本ザリガニはとげがありません。

アメリカザリガニは、田んぼや沼、用水路など、少し泥水がまじった場所でもすむことができます。けれども日本ザリガニは水がきれいな小川などにしかすむことができません。さらに、<sup>たまご</sup>卵をうむ<sup>かず</sup>数も大きくちがいます。日本ザリガニは、1回の<sup>さんらん</sup>産卵（<sup>たまご</sup>卵を産むこと）で30~60こほどの<sup>たまご</sup>卵しかうまないのに、アメリカザリガニは、<sup>すうひゃく</sup>数百から<sup>すうせん</sup>数千こほどもうみます。このため、今から100年ほどまえにアメリカから日本にもちこまれたわずかなアメリカザリガニが、ばくはつてきにふえてしまったのです。げんざい、日本ザリガニは、おもに<sup>ほっかいどう</sup>北海道や<sup>とうほくちほう</sup>東北地方にしかすんでいません。そして、日本ザリガニは、すめる<sup>ばしよ</sup>場所である水のきれいな小川が少なくなったことで、<sup>いま</sup>今やぜつめつのききに<sup>がいこく</sup>あります。外国からもちこむ<sup>もの</sup>生き物が、日本にもともといる<sup>もの</sup>生き物のせかいに、どれだけの大きなえいきょうをあたえるかがわかりますね。

<sup>しんみなと</sup>新湊でも、<sup>ようすいろ</sup>用水路などでみられるザリガニは、アメリカザリガニです。アメリカザリガニは、<sup>いま</sup>今やどこにでもみられるくらいに<sup>かず</sup>数がふえています。6月になったら、<sup>しんみなと</sup>新湊でも、さまざまところにザリガニが見られると思います。

もしザリガニを見つけたら、アメリカザリガニのとくちょうをもっているか、

くわしくかんさつしてみてくださいね。

では、また、明日。

<参考文献>

武田 正倫 2010,『学校のまわりでさがせる生き物図鑑』金の星社